

事務事業調書 平成23年度	No 432	課名 清掃事業所	起案者 宮田廣保
事業種別 市民サービス		係名 事業係	決裁者 平岩光
事務事業名 資源再生化事業（中間処理等事業）		区分 継続	業務一覧No 5, 6, 19, 35
			他係名 他係業務一覧No

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり	予算科目(会計)	一般会計
	2 資源循環	予算科目(款・項・目)	20-10-10
	1 ごみ	総合計画以外の計画	
	2 資源化	関連する総合計画の施策	
	4 リサイクルの推進	法定受託事務	無
性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有 安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第4条		
実施方法	一部委託	委託先	民間企業
実施期間	開始 平成09年度	経過 14年目	終了 期間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	将来の市民が	~になる	地球環境破壊や資源枯渇から救われる一助となる。
事務事業の内容	回収されたペットボトルや容器包装プラごみの資源化を行います。			
事務事業進捗状況	ペットボトル434t、容器包装プラごみ1,311tを処理し、それぞれ395tと1,188tの再生化を実施しました。			
改善・対策の履歴	平成9年度よりペットボトルの拠点回収を開始し、また容器包装プラごみは平成15年度より市全域で分別回収を開始して資源化への取組みを行いました。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	87,291	84,224	79,330	78,968	82,085	81,311	80,600	
財源計 a	86,839	83,772	78,878	78,516	78,320	78,299	76,082	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	5,000	21,096	5,000
	一般財源	86,839	83,772	78,878	78,516	73,320	57,203	71,082
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0	
職員人件費 d	452	452	452	452	3,765	3,012	4,518	
内訳 従事職員数	0.06	0.06	0.06	0.06	0.50	0.40	0.60	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名 (活動内容)	ペットボトル選別等業務	見込(単位)	320.00	320.00	320.00	320.00
				実績b(単位)	320.00	257.00	320.00	
		指標名(単位)	処理量(トン)	活動の総事業費f 実績	77,652	69,097	68,904	
				単位コストg=f÷b 実績	242.66	268.86	215.33	
	活動②	活動名 (活動内容)	容器包装プラスチック圧縮梱包処理業務	見込(単位)	1,300.00	1,300.00	1,300.00	1,300.00
				実績b(単位)	1,338.00	1,289.00	1,300.00	
		指標名(単位)	処理量(トン)	活動の総事業費f 実績	6,572	9,871	12,407	
				単位コストg=f÷b 実績	4.91	7.66	9.54	
	活動③	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	ペットボトル選別処理量(トン)	見込(単位)	320.00	320.00	320.00	320.00
			実績(単位)	266.00	257.00	395.00	
			達成状況	未達成	未達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	容器包装プラスチック処理量(トン)	見込(単位)	1,300.00	1,300.00	1,280.00	1,230.00
			実績(単位)	1,338.00	1,289.00	1,310.00	
			達成状況	達成	未達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	プラスチック製容器包装リサイクル協会からプラスチック製容器包装を再商品化するにあたり、品質基準向上及び再商品化に要する費用低減の貢献度に応じて支払われる再商品化合理化拠出金額が増えたことにより、市の一般財源の持ち出し額を減らすことができました。	

6 単位コストと成果の分析

項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
単位コスト	市場の変動に合わせ処置(ペットボトル搬出にあたり有価で処分(=売却))できました。
成果1,2	容器包装プラスチックを受け入れる協会の処理基準が厳格化する中、基準どおりに滞りなく容器包装プラスチックを処理することができました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
	ペットボトルは、市場変化に注視し、有利な売却方法を考慮し処理していきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	中間処理施設整備実施に向けて、関係機関との協議や事務処理を進めます。